

2016年3月23日

食べる☆デイ打合せ議事録

日時：平成28年3月23日（水）19時半

出席：五島先生、佐藤（笑み）、清村（ふぁみりい）、岡澤（小春）、後藤（笑み）、小林（百合）、門脇（百合）、松山（りっくる）、木村（りっくる）

【食べるデイテスト状況報告】

実施デイ：デイホーム笑み

- ・6か月（3か月）前からの変化を記録（右側が今回の記録）
- ・年齢も項目に入れたほうが良いのでは。

- ・遠〇様（クラスD）、食事が少なくMNA7、体重35.6kg、BMI16。

体力テストは問題なし。歩くスピード速く足腰が強い。

耳が遠いため他者とのコミュニケーション量も少ない。

食形態があっていない認識はないが、ご本人に確認をしてみることにする。本人なりに食べたくない理由やこだわりがあるかもしれない。せんべいテストも60回、水飲み「×」なので、何か問題があるのでは。

- ・平〇様（クラスD）、3か月前からC→Dに悪化。

麻痺があり食事に時間がかかり、本人も疲れてしまう。笑みさんではスプーン対応で食事は増えたが自宅では不明。

煙草を吸うことが大好き。

耳が悪いのが何か関係ある？利用者同士の会話がなりたたない。

【今後の方針】

- ・評価をもとに、クラスに分かれたグループごとに、何かのアプローチ、働きかけを行い、その変化などを記録していくその効果が見えてくる。

→体操プログラムなどの作成が今後の課題。

例：藤〇様はせんべいテストが30→40に悪化。握力も同様に15→12に悪化。握力をつけることで改善が見られるかもしれないので、次回までに握力アップを目指していく。

- ・ポイントをしぼった活動をすることで、テスト結果にどのような影響がでるのかを確認する。

- ・笑みでは握力強化に絞って3か月間活動をしていく。

- ・ふぁみりいでは起立訓練に力を入れているの。

【その他意見】

- ・せんべいテストが難しい（その時の気分により変化が出てしまうのでは）。実施時間なども影響があるのでは。時間をできるだけ統一してやるほうが正確なデータがとれる。
- ・水飲みテスト 30cc を一気に飲むのが難しい方が多い。薬を飲むようにして飲んでくださいと促している。
- ・B や C などのボーダーラインの方は、一喜一憂するのではなく、大きな変化があるかどうかの推移を見ていくので良い。
- ・個人カルテに落とし込むと、それぞれの変化が見えてくる。
- ・百合さんは、食べる☆ダイテストを毎月行っていく予定なので、今後小さな変化も見える可能性あり。

【画像検証（りっくるご利用者）】

- ・元耳鼻科医のご利用者で食べる☆ダイテストも受け付けない。食事中にむせこみがある。
- ・車いすのひじ掛けがテーブルにあたり、お皿との距離が遠いため、体を前後する必要がある。
- ・車いすでの食事ではなく、いすに移ってもらえば変化がみられるかもしれない。
- ・元学校の先生、常食を噛んでいるが、呑み込めず、最終的に口の中から出してしまう。
- ・舌の動きが悪く、噛むスピードが変わらず、奥歯まで送り込めていない様子。継続的にせんべいテストをすることで変化がよくわかるご利用者ではないか。

【コンセプトとの連携】

- ・コンセプトの試作品を笑みで試用しているので、次回報告する。

次回：4月29日（金）19時半@笑み

以上